

平成25年度 やまなしエコ通勤 トライアルウィーク 実施状況



1. 参加申し込み状況

申し込みと現在の通勤状況

申し込み	従業員数	マイカー通勤
29	11,893	9,167

- ・エコ通勤トライアルウィークへの参加申し込みのあった事業所数は29事業所。
- ・参加事業所に勤務する11,893人のうち9,167人(77.08%)が現在マイカーで通勤。

ステップ1 エコ通勤PR取り組み状況

メール等	掲示等	会議等	個別	その他
16	20	21	13	2

- ・エコ通勤のPRは29箇所全ての事業所で実施。
- ・PRの方法は、各事業所で、効果的な方法を選択してもらい、内訳は

「メール・イントラネットなどで案内」	16事業所
「掲示物・職場内回覧などで周知」	20事業所
「会議・朝礼などで呼びかけ」	21事業所
「マイカー通勤者に個別に働きかけ」	13事業所
- ・「その他」の2事業所は「パンフレットの配布」によるPRを実施。

ステップ2 エコ通勤転換予定者数

徒歩	自転車	公共交通	その他	計
218	480	420	15	1,133

- ・期間中は参加事業所のマイカー通勤者9,167人のうち、1,133人(12.36%)がエコ通勤にチャレンジする予定。
- ・エコ通勤の種別ごとの転換者数は

「徒歩通勤にチャレンジ」	218人(19.24%)
「自転車通勤にチャレンジ」	480人(42.37%)
「公共交通通勤にチャレンジ」	420人(37.07%)
「その他のエコ通勤にチャレンジ」	15人(1.32%)
- ・「その他のエコ通勤」の15人は「マイカーによる乗り合わせ通勤」を実施予定。

ステップ3 ワンコインエコチケット配布数

チケット	実人数
1,256	213

- ・期間中、1乗車100円で路線バスを利用可能な「ワンコインエコチケット」の配付枚数は1,256枚。
- ・エコチケットを配付する実人数は213人で、公共交通通勤にチャレンジする者の50.71%に相当。

2. 期間中の取り組み状況

バス事業者からのエコチケット利用状況

12月16日	49
12月17日	68
12月18日	83
12月19日	67
12月20日	75
12月21日	24
12月22日	26
合計	392

- ・ 期間中のワンコインエコチケットの利用数は392枚で、配付数1,256枚の31.21%。

参加事業所からの実績報告

	徒歩	自転車	公共交通	その他	計
12月16日	113	284	98	91	586
12月17日	112	288	111	92	603
12月18日	114	238	121	104	577
12月19日	110	198	141	109	558
12月20日	125	241	135	99	600
12月21日	22	19	15	58	114
12月22日	21	17	14	59	111
合計	617	1285	635	612	3,149

- ・ 期間中にエコ通勤に取り組んだのは延べ3,149名。
- ・ 参加申し込みのあった1,133人が、期間中に平均2.8回のエコ通勤を実施。

参加者からの代表的な意見

- ・ 肯定的な感想
 - ・ 環境や健康のためにエコ通勤は有効な取り組みだと感じた。
 - ・ 交通渋滞の影響を受けることなく、イライラしない通勤ができた。
 - ・ 風景を見ながら通勤でき、良い気分転換となる。
 - ・ 移動時間を読書等有効に活用できるメリットがあることがわかった。
- ・ 否定的な感想
 - ・ この時期寒くて降雪もあり大変だった。気候の安定した5、10月のほうが参加しやすい。
 - ・ 帰宅時間が不規則な場合、時間が決まっているバス通勤は困難と感じた。
 - ・ 自宅から最寄駅までの距離が遠く不便。電車運行本数が少なく、運賃も高すぎる。
 - ・ 公共交通利用によりマイカーよりも時間がかかりすぎる。時間に追われてしまい毎日の利用は不可能
 - ・ 費用負担が大きく、毎日の利用は無理
- ・ 転換への課題
 - ・ 公共交通機関の利便性（朝・夜便数、運行時間の拡張）の向上がないと、現状ではマイカーか転換後の選択肢は自転車のみしかない。
 - ・ 勤務地付近に公共交通機関がない。中心市街地以外は公共交通への転換は困難では。
 - ・ 他の交通機関との接続を考慮してほしい。
 - ・ 住居地からの通勤方法を考慮した勤務地の設定がそもそも必要
 - ・ 自転車通行による危険を感じた。自転車道と歩道の区分け等の受け皿整備が必要
 - ・ 料金設定が高い（特に遠距離）。